

JEAC4601（耐震規程）の効率的な進め方に関する提案

今後の JEAC4601 の技術評価にあたり、検討の効率的な進め方について原子力規制庁殿との面談を行うことになったことから、以下のとおり効率化に資すると思われる案をまとめた。

- JEAC4601 は初めての技術評価となるが、以下 a)～c)のいずれにもあたらないものを議論対象とすることを提案する。また、非常に物量が多いので規格内容の網羅的な説明は省略し、規制庁殿からの確認事項を頂くステップから始めたい。
 - a) 既にガイドで引用されている年版に記載された内容
 - b) 規制基準で適用が認められている内容
 - c) 事業者の規制基準適合性審査で適用が認められたもの

- 規制庁殿よりの確認事項、質問事項を書面により事前提示頂き、日本電気協会からそれにお答え／説明するやり方で進めたい。その場合、規制庁殿よりの確認事項、質問事項についてタイムリーに意図などを確認できるように、会話する場を設けて頂きたい。

- JEAC4601（耐震規程）については、機器・配管系、建物・構築物、土木構造物の分野ごとに詳細な要求事項をまとめており、それぞれ別の検討会で対応している。分野毎に対応者が異なることとなるため、施設の詳細な規程内容についての評価はグループ分けして検討を進めるのが効率的である。

以上